



「えほんのへや」について

秋田県立図書館 館長 田中 博光

当館二階の閲覧室に入って右奥に進むと「えほんのへや」がある。背の低い書棚に色とりどりに並べられた絵本と子ども用のイスとテーブルが配されたこの部屋で、月に二回、読み聞かせや読書相談、お薦め本の紹介を行っている。中心になっているのが二〇〇三年六月に開設された子ども読書支援センターで、当館職員と九名の読書支援員で運営している。支援センターでは子どもの読書についての相談や市町村への講師派遣、幼稚園や保育園などへの絵本・児童書の貸出のほか、毎月第一・第三日曜日のおはなしタイムなど子どもの読書活動全般の支援を行っている。

「おはなしタイムを目標てに入室し、開始を待っている子どもたちがいる。その存在は、支援員に力を与えてくれ、改めて楽しい時間にしようという気持ちにさせてくれる。子どもたちが絵本の楽しさや魅力に十分浸れるようこれからも努力していきたい」と読書支援員の方の言葉にあるように、楽しみながら子どもたちの読書をサポートさせてもらっている。

私は図書館に勤務してまだ半年だが、子どもたちの読書活動に携われていることをとてもうれしく思う。物語の中で、未知の世界や出来事との出会いはかけがえのない経験であり、子どもたちの想像力や感性を豊かにしてくれる。何より読書は楽しみながらいろいろな効果を得られる優れたものだ。

シーンと静まった閲覧室の中で、この一角だけは時々子どもたちの声が聞こえてくる。真剣な表情で絵本を読んでいる子どもや一緒に気に入りの一冊を探している親子連れ。中には自分が幼い頃に大好きだった絵本を見つけ、夢中になってしまってお母さんもいらっしやるとか。何冊もの絵本を抱えて貸出カウンターに向かう子どもたちの姿を微笑ましく感じる。

児童文学作家で翻訳家の松岡享子は『えほんのせかい このどものせかい』の中で、「子どもたちは、おはなしそのものを新しい経験として受けとめようとします。おはなしの中に、なによりもまずひとつの経験―精神の冒険といってもいいで

しょうかーを求めるのです。」と述べている。さらに、「子どもたちが、それらの主人公と自分を同一視して、主人公とともに、おはなしに参加するのでなければ、おはなしは経験になりません」とも。

主人公のネズミやそらまめになった子どもたちは、今日もこの部屋の中で物語の世界を旅している。想像力をいっぱいにくくらませながら。



昨年度のふかまる秋のおはなし会

がん情報に関するサービスのご紹介

日本人の2人に1人が「がん」にかかる時代。県立図書館では、関係機関と連携して「がんに関する信頼できる情報」を提供しています。

がん情報コーナー

がんに関するパンフレット等を集めたコーナーです。

がんの基礎知識、県内のがん相談窓口・がんサロン情報などを取り揃えています。

治療中の方やご家族、がんについて知りたい方、どなたでもお気軽にご利用ください。

●「がん情報ギフト」

国立がん研究センターが作成した、科学的根拠に基づいた、「確かな」「わかりやすい」「役に立つ」内容の冊子です。

各種のがんの解説、緩和ケア、家族ががんになったとき、がん相談支援センター、がんの仕事のQ & Aなどの種類があります。



がん情報コーナーの様子

「がん情報ギフト」を提供している他の図書館は、こちらで確認できます。

https://www.ncc.go.jp/jp/d004/donation/ganjoho_gift/030/20220815091727.html（国立がん研究センターHP）

がん情報セミナー

平成30年から、秋田大学附属病院の医師や専門職を講師にお招きして、がんに関するセミナーを県内各地で開催しています。秋田大学医学部附属病院・秋田県がん診療連携協議会がん患者相談部会との連携事業です。

今年度は、「がんに負けない身体づくり」をテーマに、当館で8月25日（月）に開催し、多くの方にご参加いただきました。



【これまでのセミナー内容（一例）】

■安藤 秀明 医師 「がんについてもっと知ろう」

（会場：秋田県立図書館、由利本荘市カダーレ、北秋田市交流センター）

がんに関する基礎知識をメインに、がんとは何か、がんになる原因、最新の治療法などについてお話いただきました。早期発見により治療する確率が格段に上がることから、がん検診・二次検診の大切さを学びました。

■若狭 正彦 教授 「がんに負けない身体づくり～フレイル予防で生活の質を守る～」

（会場：秋田県立図書館）

加齢により心身が衰えた状態のことを「フレイル」といい、生活習慣病やがんにかかる危険性が高まります。フレイル予防のための効果的なウォーキングの仕方や、スキマ時間でできる「いいあんべ体操」を教えてくださいました。

■がん相談支援センターの紹介ー役割と活動ー

がんに関する不安や悩みを、患者さんやご家族が気軽に相談できる場所です。秋田県内には12箇所あり、他の病院にかかっている方でもどなたでも相談可能です。相談料はかかりません。

専門相談員として研修を受けた看護師や医療ソーシャルワーカーなどが、治療のこと、生活のこと、気持ちのこと、どんなことでもお聞きします。

博物館との連携展示「稲穂の詩^{うた}～秋田の米づくり～」

4月11日（木）から5月20日（火）まで、県立博物館との連携展示「稲穂の詩^{うた}～秋田の米づくり～」を開催しました。

県立博物館が所蔵する貴重な歴史資料や昔の農具、秋田の米づくりに尽力した4人の先覚者の歩みの紹介、田んぼに生きる生き物たちの標本を通して、秋田の米づくりの歴史や米づくりと生き物との関わりあいを紹介しました。

また草薙デザイン事務所による農作業紙人形の展示では「米づくりの一年～紙人形たちが伝える農の暮らし～」と題して、なつかしい昔の農作業の四季が表現されました。

現在、「おいしい秋田米」と評価されるまでの先人たちの取組を十分に感じることができました。



金足村適産調（石川理紀之助著）



農作業紙人形 稲刈り

秋田県公文書館 秋田県立図書連携展示 つねまさ 「平沢常富とその時代」

5月29日（木）から7月1日（日）の期間、秋田藩士平沢常富に焦点を当てた展示を開催しました。平沢常富は江戸時代後期、手柄岡持・朋誠堂喜三二等の号を用い俳諧・狂歌・戯曲等で活躍した人物です。当館で所蔵する自筆の書画軸、写本、版本等15点を含む資料群は『手柄岡持（朋誠堂喜三二）自筆作品並びに関係資料』として、秋田県指定有形文化財（書跡・典籍17）に指定されています。

今回の展示では、これらの文化財資料の他に、公文書館が所蔵する秋田藩江戸留守居役としての記録や自筆の書状、江戸時代の絵図、黄表紙等、平沢常富が生きた時代を深く知ることのできる資料を紹介

しました。図書館と公文書館双方の資料を活かした展示となり、会期中行われたギャラリートークも盛況で、多くの方に観覧していただくことができました。



文化財を紹介するコーナー

第76回北日本図書館大会・第49回秋田県図書館大会

6月18日（水）、「多様化する時代の図書館—地域を支えるサービスとは—」をテーマに、にぎわい交流館A Uで開催しました。

前松本大学図書館長で元塩尻市立図書館長の伊東直登氏の基調講演では、「地域を支える図書館サービスを考える」と題し、文学に偏りすぎない蔵書構成を意識し、情報提供機関としての役割を果たしてほしい、地方にこそ質の高い図書館が必要、とのお話がありました。

事例発表は、人々の交流拠点としてA o o n a内に新規オープンした横手市立横手図書館、岩手県立図書館の震災・防災学び合いスペース「I ルーム」、名取市図書館の学校図書館連携をご紹介いただきました。

各地の先進的な図書館の姿をヒントに、地域と繋がるための最初の一步を考えるきっかけになりました。



意見交換の様子

Pick up ～各チームからの話題～

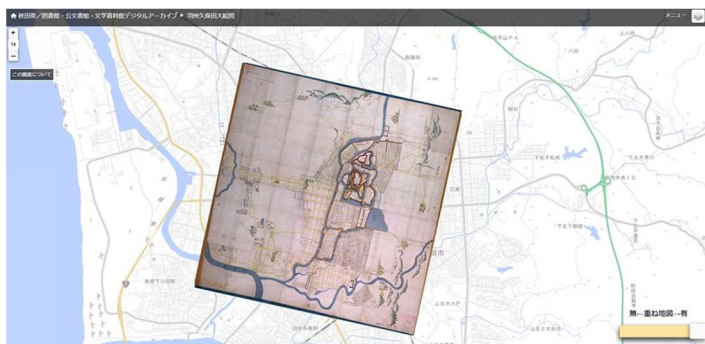
図書資料チーム

デジタルアーカイブ『羽州久保田大絵図』について

デジタルアーカイブに登録している『羽州久保田大絵図』は文政11（1828）年頃に成立した久保田城下絵図です。このたび、この絵図と国土地理院の地図を重ねた新たなコンテンツを作成しました。重ねのバーを左右に動かし透過度を変え、江戸時代の絵図から現在の地図に遷移することができます。

この機能を使うと、江戸時代の町割りをもとに現在の秋田市街地が形成されていることがよくわかります。是非一度ご利用ください。

URL <https://adeac.jp/akita-pref/catalog/01-ref-1-135>



「羽州久保田大絵図」と国土地理院地図の重ね画像

情報班・サービスチーム

「ビブリオバトル 2025 in AKITA」 連携展示について



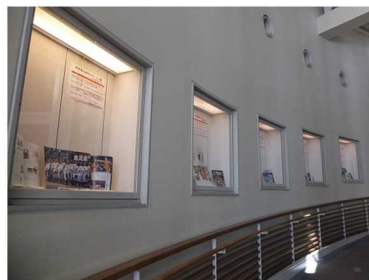
場所は新着図書コーナーの隣です

「ビブリオバトル」をご存じでしょうか。発表者（バトルラー）がお薦めの本の魅力を紹介し、ディスカッションの後、聞いていた人たち全員で「一番読みたくなった本」（チャンプ本）を投票で決める知的書評ゲームです。秋田県教育委員会主催の全県大会が11月29日（土）に秋田拠点センターアルヴェにて開催され、県内の地区大会を勝ち抜いたバトルラーが熱いバトルを繰り広げます。当館でも、過

去の大会で紹介された小説やビブリオバトル実施の解説本など、関連する資料を集めて展示を行っています。12月2日（火）までの予定です。この機会にぜひビブリオバトルの世界をご体感ください。

企画・広報チーム

今年度のスロープ展示から



令和7年度第3回スロープ展の様子

1階エントランスホールから2階閲覧室に向かうスロープでは、数か月ごとにテーマを変えながら展示を行っています。今年度の第3回スロープ展では、「秋田県出身のスポーツ人展」を開催しました。

「県民栄誉章を受章したスポーツ人」という切り口で選んだ資料は、選手本人の著書、各競技の専門誌の記事を中心にしながら、第62回国民体育大会（わかすぎ国体）秋田県選手団の関連グッズや選手の出身市町村の広報紙など、秋田色の濃いものとなりました。今後も様々なテーマを計画していますので、ご来館の際はぜひスロープ展もお楽しみください。

Event ～イベント・催し物のお知らせ～

■令和7年度図書館セミナー 「老後の安心は“備え”で決まる」 ～50代から始める終活～

講師：山内 繁序 氏 山内行政書士事務所 代表
ファイナンシャルプランナー・元銀行員

今回のセミナーでは、元気なうちから始めたい老後の備えとして、相続、遺言、家族信託、認知症になる前の契約などについて学びます。

【期日】 11月25日（火）
【時間】 午後1時30分～午後3時
【会場】 3階多目的ホール
【定員】 40名（参加無料）
【参加申込】

カウンターで直接お申し込み

電話 018-866-8400

E-mail apl@mail2.pref.akita.jp

オンライン申込フォーム（右QRコードから）

